

---

# 経営学部教授

## 林悦子先生、金谷良夫先生、菅原晴之先生を送る

経営学部長 真鍋明裕

---

経営学部がみなとみらいで新しいスタートをきってから、1年がたとうとしています。短かったような気もしますし、長く感じたようにも思いますが、間違いなく言えるのは、経営学部にとって教育・研究の環境が大きく変わったということです。通勤・通学方法が変わった人も少なくないことと思いますし、広大な敷地を水平に移動することが多かった湘南ひらつかキャンパス（以下、「SHC」）とは異なり、みなとみらいキャンパス（以下、「MMC」）では垂直方向の移動が多くなり、キャンパスでの過ごし方にも変化があったことと思われます。総じて、MMC移転は人の動き方に大きな変化をもたらしたと言えます。

人の動き方が変わることは、教職員や学生個人レベルでも、または学部全体レベルでも、自己が行動する際の外部環境が変わることにつながるでしょう。動き方が変われば、各人の滞る場所や滞在時間、具体的に何をして過ごすかということも変わりますし、それは、ひいては誰とどのようにコミュニケーションするかということにも影響するのではないかと思います。また、SHCを起点として活動するのと、MMCを起点として活動するのでは、こちらから出掛けるときも、あるいは誰かに来てもらうときも、いつ・誰と・何をするのかということに違いを生むのではないのでしょうか。そう考えてみると、MMCでの出発は、たんに場所が移ったということにとどまらない意味を持っているのかもしれない。いずれにしても、みなとみらいにおいて、経営学部の教育・研究がさらに展開していくことを期待したいところです。

さて、この『国際経営論集』第63号は、本年度をもってご定年により退職される3名の先生方を送る記念号となっています。経営学部にて長年お勤めになった林悦子先生、金谷良夫先生、菅原晴之先生がこのたびご退職されます。ここで、それぞれの先生の学部および全学でのご活躍を振り返りたいと思います。

林先生は1998年4月に本学に着任され、経営の基礎、経営学総論といった経営学の基盤となる科目をご担当されたほか、ご専門である人的資源管理論を担当してられました。企業における技能形成はどのようにして行われるのか、経営戦略と人的資源管理はどのように関係するのか、といった林先生のご研究テーマは企業経営上欠かすことのできない論点であり、多くの学生がこうしたことに興味を持ち、林先生の講義を受講しました。

また、大学院においても、人的資源管理に係る研究をするために林先生の指導を希望し、入学する学生が多くいました。林先生は学生1人1人のことをいつも気にかけておられ、丁寧に指導されていました。たとえば、大学院生は、そのほとんどが留学生ですが、彼らが日本語で修士論文を書くことは簡単ではありません。そのような中、林先生は論文の内容や方向性等に関するご指導はもちろんのこと、日本語表現にわたるまで時間をかけて大学院生と向き合い、サポートしておられました。その成果は、大学院生の優れた研究となって結実しました。講義

や学生指導以外の面では、大学院委員や学部学科主任、評議会評議員などを務められ、大学運営にご尽力されたほか、SHCが立地していた平塚市との交流のなかで、平塚市観光協会理事や平塚市教育委員会の委員として長年活動され、地域貢献においても大きな役割を果たされました。

金谷先生は1990年4月に本学に着任され、長年にわたり英語科目をご担当してこられました。SHCの外国語教育において中心的な役割を果たされ、湘南ひらつかキャンパス外国語・共通科目教育協議会会長を務められるなど、共通教養教育の発展にご尽力されました。また、SHCが開設されて間もない時期に、ヴィクトリア大学やカンザス大学との提携に参画され、国際教育の拡充に多大な貢献をされました。

ご研究においては、マーク・トウェインのユーモアをテーマとし、『ハックルベリー・フィンの冒険』など、マーク・トウェインの主要作品にみられるトウェインの人間観や自然観、笑いなどについて考察されました。金谷先生は英語のクラス以外に演習科目もご担当されていたので、授業の中で、英語や海外の文化に関心のある学生さんたちにご研究について語られることもあったのではないかと思います。私は、金谷先生とは専門分野の違いもあり、お話をさせていただく機会は多くはありませんでしたが、お会いしたときにはいつもやさしくお声をかけてくださいました。私が着任したばかりで、まだ先生方のお名前もわからなかったときに、気さくにお話をしてくださり、その後も折に触れて励ましのお言葉をいただいたことを今も覚えています。

菅原先生は、1989年4月、すなわちSHCのスタートと同時に本学に着任され、ミクロ経済学、マクロ経済学、国際金融論などをご担当されました。経営学を学ぶうえで、経済学の知識は不可欠の要素であると言えますが、菅原先生は経営学部において、経済学や金融の理論を教えていただける貴重な先生でした。ご研究としては、日本の金融政策に注目され、計量モデルを用いた政策評価などを行われました。

学内では大学院委員を長くご担当され、大学院学務委員会委員長も務められるなど、大学院教育の充実にご尽力されました。また、ゼミでも熱心に指導され、日経TESTなど大学外部の大会にも積極的に参加されていました。菅原先生の授業やゼミで扱われる題材や理論には難解なものも多かったことと思われそうですが、それだけに、参加した学生は高度な知識と技能を獲得したことと思います。ご指導された学生の、卒業後の活躍をうれしそうに語られるお姿が印象的でした。

3名の先生方のこれまでのご尽力に心より感謝申し上げますとともに、これからのますますのご活躍をお祈り申し上げます。

# 定年退職教授の略歴



## 林 悦子教授

(1951年8月19日生まれ)

### 主な履歴

- 1974年3月 青山学院大学文学部史学科卒業
- 1984年3月 青山学院大学第二部経営学部経営学科卒業
- 1987年3月 青山学院大学大学院経営学研究科経営学専攻博士前期課程修了
- 1994年 シドニー大学大学院経済学研究科労使関係論専攻博士課程修了  
(Ph.D. in Economics)
- 1994年4月 北星学園大学経済学部経営情報学科助教授
- 1998年4月 神奈川大学経営学部国際経営学科助教授・大学院経営学研究科助教授(兼任)
- 2001年4月 神奈川大学経営学部国際経営学科教授・大学院経営学研究科教授(現在に至る)
- 2011年4月 神奈川大学経営学部国際経営学科主任(2014年3月まで)
- 2016年4月 神奈川大学評議会評議員(2018年3月まで)

### 学会および社会における活動等

所属学会：日本経営学会、日本労務学会、日本労使関係研究協会、日本マネジメント学会、  
国際ビジネス研究学会、経営史学会

2009年10月 平塚市教育委員会委員(2013年9月まで)

2017年10月 平塚市教育委員会委員(2021年9月まで)

### 主な著作

「技術革新下の人材育成戦略と組織」(1995)『日本労働研究雑誌』428号, 日本労働研究協会.

- 「技能形成類型と正社員の多様化—鉄鋼業・自動車産業の事例」仁田道夫編（2002）『労使関係の世紀』日本労働研究機構.
- 「ドイツにおけるデュアル・システムの実際（Ⅰ）技能訓練の日独比較の観点から」（2010）『国際経営論集』39号, 神奈川大学経営学部.
- 「高齢者雇用と人的資源管理—デジタル世代との協働と相克」（2019）『神奈川大学評論』92号, 神奈川大学.

# 定年退職教授の略歴



## 金谷良夫教授

(1952年1月1日生まれ)

### 主な履歴

- 昭和52年 ミシガン州立大学文芸学部英語学科卒業
- 昭和56年 青山学院大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程修了
- 昭和60年 産業能率大学経営情報学部専任講師就任
- 平成2年 神奈川大学経営学部助教授就任
- 平成7年 神奈川大学経営学部教授就任（現在に至る）
- 平成10年 カリフォルニア大学バークレー校客員研究員（平成11年まで1年間）

### 主な学内職務歴

- 平成2年 神奈川大学とアメリカのカンザス大学とに関わる大学提携及び平塚市とローレンス市との姉妹市提携に携わる
- 平成3年 神奈川大学とカナダのビクトリア大学との提携に携わる
- 平成15年 神奈川大学教務部副部長（平成16年3月まで）
- 平成18年 神奈川大学国際経営学会運営委員長（平成20年3月まで）
- 平成20年 神奈川大学法人評議員会評議員（平成23年9月まで）
- 平成21年 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス外国語・共通科目教育協議会会長（平成25年3月まで）
- 平成27年 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス共通教養科目教育部会長（平成29年3月まで）
- 平成27年 神奈川大学レスリング部副部長就任（現在に至る）
- 平成30年 神奈川大学平塚図書館館長（令和3年3月まで1期半）

## 学会及び社会における主な活動

日本英文学会	日本アメリカ文学会	アメリカマーク・トウェイン学会
日本マーク・トウェイン協会		アメリカモダン言語学会
ヘンリー・ソーロウ学会		日本英学史学会
国際ビジネスコミュニケーション学会		アメリカ学会

平成 9 年	アメリカ カンザス大学にてカンザスの学生対象6講義を行う
平成11年	文部科学省公認実用英語検定試験面接委員（平成20年3月まで）
平成12年	日本笑い学会「マーク・トウェインの笑い」講演 日本女子大大学院「トム・ソーヤーの笑い」講演
平成15年	平塚市「言葉がわかれば世界が見える」講演
平成22年	神奈川大学横浜キャンパス秋季高校生講座「アメリカ文学の魅力」を講演
平成23年	日本マーク・トウェイン協会「『マーク・トウェインの自伝』第1巻を読む」 パネリストとして参加
平成24年	平塚市国際交流協会理事（平成27年3月まで） 日本マーク・トウェイン協会役員（現在に至る）

## 主な著作物

昭和61年	『職場で役立つ英会話・英文例ハンドブック』（PHP研究所）
昭和63年	『旺文社ビジネス英和辞典』執筆参加（旺文社）
平成 1 年	Forrest G. Robinson <i>In Bad Faith: The Dynamics of Deception in Mark Twain's America</i> 書評『英文学研究』第65号（日本英文学会）
平成 2 年	『仕事に活かせるビジネス英会話・手紙ハンドブック』（PHP研究所）
平成 5 年	『コミュニケーションのための英語・再入門— English Grammar for Communication』 （中央経済社）
平成 6 年	「マーク・トウェインに見る暴力対愛と笑い」『国際経営論集』第7号（神奈川大学経営学部） 「アメリカ文化—銃による暴力」『国際経営フォーラム』第5号（神奈川大学経営学部）
平成 7 年	『アメリカ文学と暴力』（共著 研究社出版） John Limon <i>Is War Beautiful?</i> 書評『英語青年』（研究社出版） 『英文ビジネスレター文例大辞典』執筆参加（日本経済新聞社） マーク・トウェイン コレクション（全集）『ミシシッピの生活』解説（彩流社）
平成 9 年	「出会いと知的生活のすすめ」『学問への誘い』（神奈川大学）
平成11年	『笑いのコスモロジー』（共著 勁草書房）
平成13年	『マーク・トウェインスピーチ集』マークトウェイン コレクション（全集第17巻）翻訳（デイヴィッド・バロウの『マーク・トウェインの個性とその時代』論も含む）及び解説（彩流社）
平成17年	<i>Is He Dead ? : A Comedy in Three Acts</i> 書評と解説『マーク・トウェイン——研究と批評』第4号
令和 3 年	「『良い男の子へのアドバイス』『成功しなかったよい男の子の物語』 マーク・トウェインのユーモアシリーズⅦ」翻訳と解説『麒麟』（神奈川大学経営学部）

# 定年退職教授の略歴



## 菅原晴之教授

(1951年10月7日生)

### 学歴

- 昭和46年4月 一橋大学 経済学部入学
- 昭和50年3月 一橋大学 経済学部卒業 [経済学士]
- 昭和50年4月 一橋大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 修士課程入学
- 昭和52年3月 一橋大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 修士課程修了 [経済学修士]
- 昭和52年4月 一橋大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 博士課程入学
- 昭和56年3月 一橋大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 博士課程単位取得後退学

### 職歴

- 昭和56年4月 長崎大学 経済学部 専任講師 (昭和58年7月まで)
- 昭和58年8月 長崎大学 経済学部 助教授 (平成元年3月まで)
- 平成元年4月 神奈川大学 経営学部 経営一般教育 助教授 (平成4年3月まで)
- 平成元年4月 神奈川大学 国際交流センター委員会委員 (平成3年3月まで)
- 平成4年4月 神奈川大学「神奈川大学評論」編集専門委員会委員 (平成6年3月まで)
- 平成5年4月 神奈川大学 経営学研究科国際経営専攻博士前期課程 (兼任) 教授 (現在に至る)
- 平成7年4月 神奈川大学 入試管理委員会委員 (平成9年3月まで)
- 平成8年4月 神奈川大学 入試センター副所長 (平成9年3月まで)
- 平成12年4月 神奈川大学 大学院委員会委員 (平成15年3月まで)
- 平成13年4月 神奈川大学 大学院学務委員会委員 (平成17年3月まで)

平成15年 4月 神奈川大学 大学院奨学生選考委員会委員 (平成17年3月まで)  
 平成16年 4月 神奈川大学 平塚図書室長 (平成18年3月まで)  
 平成20年 4月 神奈川大学「神奈川大学評論」編集専門委員会委員 (平成22年3月まで)  
 平成20年 4月 神奈川大学 学生情報システム部会長 (平成22年3月まで)  
 平成22年 4月 神奈川大学 メディア教育・情報システム委員会委員 (平成23年3月まで)  
 平成22年 4月 神奈川大学 情報システム部会委員 (平成24年3月まで)  
 平成24年 4月 神奈川大学「神奈川大学評論」編集専門委員会委員 (平成26年3月まで)  
 平成25年 4月 神奈川大学 大学院委員会委員 (平成31年3月まで)  
 平成25年 4月 神奈川大学 大学院学務委員会委員 (平成31年3月まで)  
 平成28年 4月 神奈川大学 教学改革委員会委員 (平成29年3月まで)  
 平成28年 4月 神奈川大学 自己点検・評価全学委員会委員 (平成29年3月まで)  
 平成28年 4月 神奈川大学 大学院学務委員会委員長 (平成29年3月まで)

### 学会及び社会における活動等

現在所属している学会：理論・計量経済学会、生活経済学会

昭和55年10月 郵便貯金に関する調査研究会 (郵政省諮問機関) 研究員  
 昭和56年12月 機関内共同研究 (九州郵政局) 郵便貯金をめぐって—金利決定と自主運用—  
 昭和57年 2月 理論・計量経済学会 (国内学会) 会員 (現在に至る)  
 昭和60年 4月 生活経済学会 (国内学会) 会員 (現在に至る)  
 昭和61年 9月 長崎県リサーチコア推進審議会ワーキンググループ 委員  
 昭和63年 9月 科学研究費補助金「特定研究」家計の生活経済に関する理論的実証的研究 (研究代表者)  
 平成 8年 4月 科学研究費補助金「国際学術研究」歴史的遺産の資源化についての研究 (研究代表者)  
 平成17年 4月 個人研究 90年代日本の金融政策  
 平成17年 4月 個人研究 戦前期日本経済計量モデルの開発と政策評価  
 平成17年 4月 個人研究 日米経済リンクモデルと国際協調政策  
 平成23年 6月 生活経済学会 (国内学会) 財務担当理事、全国大会運営委員、関東部会理事  
 令和 3年10月 生活経済学会名誉会員

### 業績

(学術論文)

- |                                     |    |                                 |
|-------------------------------------|----|---------------------------------|
| 1 戦略阻止条件と一般可能性定理                    | 単著 | 昭和53年 6月 「経済評論」(日本評論社)          |
| 2 公正な権利の分配                          | 単著 | 昭和55年12月 「一橋研究」(一橋大学)           |
| 3 一般的不均衡における政策効果                    | 単著 | 昭和56年11月 「経営と経済」(長崎大学)          |
| 4 開放経済の数量割当分析                       | 単著 | 昭和57年 3月 「経営と経済」(長崎大学)          |
| 5 一時的均衡の価格数量調整機構                    | 単著 | 昭和57年 6月 「経営と経済」(長崎大学)          |
| 6 一時的均衡理論とマクロ経済学                    | 単著 | 昭和57年12月 「現代経済学の展望」<br>(税務経理協会) |
| 7 価格・賃金期待下における<br>産出・雇用決定への不均衡アプローチ | 単著 | 昭和57年12月 「経営と経済」(長崎大学)          |



- |    |                                  |    |          |                            |
|----|----------------------------------|----|----------|----------------------------|
| 8  | 一般的超過需要における貨幣、賃金および雇用の逐次的調整      | 単著 | 昭和58年6月  | 「経営と経済」(長崎大学)              |
| 9  | 貸出市場における情報の非対称性と信用割当             | 単著 | 昭和58年9月  | 「経営と経済」(長崎大学)              |
| 10 | 社会的公正における自由と法の支配                 | 単著 | 昭和58年12月 | 「東南アジア研究年報」(長崎大学)          |
| 11 | 社会的正義論における合理性善および法               | 単著 | 昭和60年3月  | 「長崎大学経済学部研究年報」第1巻          |
| 12 | 財政金融政策と国際間相互依存関係                 | 単著 | 昭和61年9月  | 「経営と経済」(長崎大学)              |
| 13 | 政府赤字・資本移動および為替レート動<br>学          | 単著 | 昭和62年3月  | 「長崎大学経済学部研究年報」第3巻          |
| 14 | 規制金利下における開放マクロ経済モデル              | 単著 | 昭和62年6月  | 「経営と経済」(長崎大学)              |
| 15 | 開放経済における財政政策の比較静学分析              | 単著 | 昭和62年9月  | 「経営と経済」(長崎大学)              |
| 16 | 金融自由化と財政投融资—均衡アプローチ              | 単著 | 昭和62年12月 | 「経営と経済」(長崎大学)              |
| 17 | 金融資産市場の一般数量割当                    | 単著 | 昭和63年6月  | 理論・計量経済学会西部部会              |
| 18 | 規制金利下における財政投融资機構                 | 単著 | 昭和63年9月  | 生活経済学会会報第4巻(生活経済学会全国大会)    |
| 19 | 財政投融资と金融資産市場—規制金利下における不均衡分析      | 単著 | 昭和63年12月 | 「経営と経済」(長崎大学)              |
| 20 | 利子課税の一般不均衡理論—フローモデルとストックモデル      | 単著 | 平成元年3月   | 生活経済学会九州部会                 |
| 21 | 財政投融资と利子課税の一般不均衡分析               | 単著 | 平成元年5月   | 生活経済学会全国大会                 |
| 22 | 金融資産市場の不均衡と利子課税の静学的分析            | 単著 | 平成2年3月   | 神奈川大学経営学部国際経営論集第1号         |
| 23 | 金利システムと為替レートの調整—近年におけるわが国のJカーブ効果 | 単著 | 平成3年3月   | 神奈川大学経営学部国際経営論集第2号         |
| 24 | 財政金融政策と国際収支                      | 単著 | 平成4年3月   | 神奈川大学経営学部国際経営論集第3号         |
| 25 | 日本のマネーサプライと金融政策                  | 単著 | 平成6年2月   | 神奈川大学経営学部国際経営論集第6号         |
| 26 | 戦後日本の金融政策と景気循環                   | 単著 | 平成7年2月   | 神奈川大学経営学部国際経営論集第8号         |
| 27 | 歴史的遺産資源開発と環境の経済学                 | 単著 | 平成11年4月  | 『歴史的遺産の資源化の研究』報告書(文部省科学研究) |
| 28 | 金融自由化と家計・企業・銀行行動                 | 単著 | 平成12年11月 | 神奈川大学経営学部国際経営論集第20号        |

- |    |                          |    |          |                                  |
|----|--------------------------|----|----------|----------------------------------|
| 29 | 戦前期日本の金融システム—1924～40年    | 单著 | 平成13年11月 | 神奈川県大学経営学部<br>国際経営論集 第22号        |
| 30 | 戦前期日本経済計量モデルと財政政策        | 单著 | 平成14年3月  | 神奈川県大学経営学部<br>国際経営論集 第23号        |
| 31 | 戦間期日本の経済政策と金本位制—歴史的アプローチ | 单著 | 平成21年10月 | 神奈川県大学経営学部<br>国際経営論集 第38号        |
| 32 | 温室効果ガス削減政策の日本経済に対する波及効果  | 单著 | 平成22年3月  | 神奈川県大学経営学部<br>国際経営論集 第39号        |
| 33 | 復興増税と日本財政の持続可能性          | 单著 | 平成24年3月  | 神奈川県大学経営学部<br>国際経営論集 第43号        |
| 34 | 日本の経済発展と資産・所得分配—中間報告     | 单著 | 平成28年12月 | 国際経営フォーラム27号<br>(神奈川県大学 国際経営研究所) |

(その他)

- |    |                                  |    |          |                                      |
|----|----------------------------------|----|----------|--------------------------------------|
| 1  | 書評『「きめ方」の論理—社会的決定理論への招待』         | 单著 | 昭和55年12月 | 「一橋研究」(一橋大学)                         |
| 2  | 郵便貯金をめぐって—金利決定と自主運用              | 共著 | 昭和56年12月 | 九州郵便局                                |
| 3  | 国際化・高齢化におけるライフ・サイクル              | 单著 | 昭和61年1月  | 郵政省貯金局                               |
| 4  | 金融自由化と国際間相互依存                    | 单著 | 昭和62年2月  | 郵政省貯金局                               |
| 5  | 高齢化、国際化社会における金融自由化—財投機関における郵便貯金— | 单著 | 昭和62年3月  | 九州郵政局                                |
| 6  | 金融自由化と政策金融の資金調達および運用             | 单著 | 昭和63年1月  | 郵政省貯金局                               |
| 7  | 財政投融资と金融資産市場の確率的割当               | 单著 | 平成元年1月   | 郵政省貯金局                               |
| 8  | 金融自由化と利子課税の一般均衡分析                | 单著 | 平成2年2月   | 郵政省貯金局                               |
| 9  | 書評リチャード・ミラー著 橋本光憲監訳 米国銀行危機への対応   | 单著 | 平成3年3月   | 神奈川県大学経営学部<br>国際経営論集 第2号             |
| 10 | 環境問題の経済学的アプローチ—炭素税導入の日本経済予測モデル   | 共著 | 平成16年3月  | 『環境問題の国際的連関に関する総合的研究』(神奈川県大学国際経営研究所) |
| 11 | 戦前期日本の金融システムの成立と転換               | 单著 | 平成19年3月  | 『戦前期日本の金融システムの成立と転換』日本郵政公社           |